

報道関係各位

2026年6月3日

モリタと ITURRI 戦略的パートナーシップを締結  
先端屈折式はしご付消防自動車「MLMA5-32」INTERSCHUTZ 2026 で発表  
～ 欧州・中南米・北アフリカ市場に向け展開 ～

株式会社モリタホールディングス

株式会社モリタ(本社:兵庫県、代表取締役:城賀本 守、以下、モリタ)と ITURRI S.A.(本社:スペイン、CEO:Juan Francisco Iturri、以下、ITURRI)は、戦略的パートナーシップを締結し、ドイツ・ハノーバーで開催される世界最大級の消防防災展「INTERSCHUTZ 2026(インターシュッツ 2026)」において、協業により誕生した先端屈折式はしご付消防自動車「MLMA5-32」を発表いたしました。



セレモニーの様子

本製品は、モリタのはしご車技術とITURRIの特殊車両における設計・製造技術を融合したモデルであり、欧州・中南米・北アフリカ市場における、はしご付消防自動車事業の展開を目的とした本提携における初の取り組みとなります。

ITURRIは、欧州・中南米・北アフリカ地域に 14 以上の支店と 4 つの製造工場を有しており、各地域で迅速なメンテナンス・サポート体制、広範な販売網を構築しています。モリタの技術力とITURRIの地域に根差したサービスネットワークを組み合わせることで、製品供給から保守管理まで一貫したサポートを提供し、車両の安定した運用に貢献します。



欧州規格(EN規格)に適合した先端屈折式はしご付消防自動車は、過酷な現場環境における信頼性と安定した運用を重視して開発されました。屈折機構の採用により、複雑な都市部環境においても柔軟かつ効率的な運用が可能です。また、高い許容積載荷重を備えたバスケットと高度な制御システムにより、厳しい現場環境下でも高い安全性・機能性・操作性を実現します。

■株式会社モリタ 代表取締役 社長執行役員 城賀本 守 コメント

「当社は100年以上にわたり、消防現場のニーズに応え、火災や災害から人々の生命、財産を守り続けてまいりました。ITURRIとの戦略的パートナーシップにより、当社が培ってきた消防車両の技術開発力とITURRIの生産技術力、地域ネットワークを融合し、新たな市場において最適なソリューションを提案してまいります。先端屈折式はしご付消防自動車は、両社の協業を象徴するモデルです。本提携を通じて、各地域の消防ニーズに応える新たな挑戦を進めてまいります。」

■ITURRI S.A. CEO Juan Francisco Iturri コメント

「1947年に設立されたITURRIは、消防車両の設計、製造、販売、メンテナンスまでを手掛ける企業であり、広範なサービスネットワークを強みとしています。

モリタとのパートナーシップは、『ユーザー目線で救助・消火活動における真のニーズを理解し、安定した運用を実現するソリューションを提供する』という共通のビジョンを反映したものです。両社の能力を掛け合わせることで、ユーザーに強固で価値の高いソリューションを提供できることを確信しています。」

モリタとITURRIは、本製品を契機として戦略的パートナーシップを推進し、消防分野における多様なニーズに対応した、信頼性の高い製品・サービスの開発・展開を進めてまいります。

■会社概要

ITURRI S.A.

代表者	Juan Francisco Iturri
所在地	Avda. Roberto Osborne, 9 de Sevilla , Spain
創業	1947年
事業内容	産業、消防・救急、防衛、医療分野向け製品・サービスの提供

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス グループ戦略本部 経営企画室 広報課 担当:三木

TEL:03-6400-3485